

企業で取り組む環境経営 エコアクション 21 vol.19

定期的な改善報告書で
現場のリアルな声を集約
積極的に提案を採用し
社員の創意工夫も活発に

お話を聞きしたのは

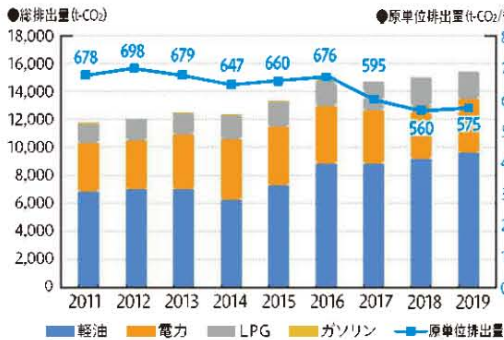
株式会社ロジコム

代表取締役社長

おおうえ まさと
大上 正人さん



▶ 二酸化炭素排出量と原単位(売上)当りの実績



充電済みのバッテリーを複数常備し、都度交換することで電力使用量の平準化に効果を上げています。

LEDなど省エネ機器への転換と、全国各地の営業所や物流センターでの地道な節電対応が、結果に繋がっています。照明や冷暖房は担当者を決めて無駄な点灯・運転がないか管理したり、デマンド計を設置し消費電力のピーク値が近づいたら館内放送で節電を呼びかける取り組みも行っています。リフトは内燃機関方式からモーター方式のバッテリータイプに移行。電力平準化のため、ピークを作らないように充電しています。

CO₂排出量を順調に削減されていますが、具体的な取り組みを教えてください。

当社は物流サービスが中核となるため、CO₂の削減や資材のリサイクルといった環境対策が欠かせません。また、協力会社や顧客からも環境対策を求められる機会が年々増えてきました。輸送部門がグリーン経営を取得したことをきっかけに、グループ全体でさらなる環境経営の強化と企業イメージの向上を目指し、エコアクション21(以下EA21)にも取り組むことになりました。

環境レポートの作成について教えてください。

作成を始めた頃は手探りでしたが、「環境コミュニケーション大賞」環境大臣賞のレポートを参考に削減の推移が把握しやすい構成を研究しました。社内資料の作成においても、培ったグラフの魅せ方など、EA21のレポートの技術を活用しています。その甲斐もあり、今年の2月には優良賞を受賞しました。自信につながる成果であり、協力会社や取引先にアピール

エコアクション21に取り組んだきっかけを教えてください。

社内報を年3回発行し、環境に関する情報共有を進めています。また、各営業所が月1回改善報告書を作成し、問題や取り組みなど組織的な情報共有と課題解決を目指しています。熱中症対策として通気性のいいユニフォームを導入するなど、実現した案は多数あります。さらに年に1度改善効果が高い営業所を表彰。社員のモチベーションアップになっていくようです。燃費向上のために各メーカーのタイヤを履き替えて比較検討するなど、社員の主体的な取り組みも増えてきたと感じます。

株式会社ロジコム

所在地 〒732-0044 広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
従業員数 814名(グループ全体/1,165名) 認証・登録日 2009年3月
自動車部品の製造、製品の保管修理、倉庫業、貨物利用運送業などを行っています。

エコアクション21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証・登録する制度です。



エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団
〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp

エコアクション21に取り組んで良かったことは?



第23回環境コミュニケーション大賞で優良賞を受賞しました。

当社は2010年に省エネ法の特定事業者となり、2017年には事業者クラス分け評価制度でSクラスの評価をいただいています。これもEA21の成果の一つ。励みにして社員一同努力を継続していきたいです。

できるツールができたということでもあります。今後は積極的に活用していきたいです。